



研究所だより



2020. 12. 23

NO.3



上ノ加江中学校

令和2年も残り少なくなってきました。毎日のように聞いたコロナ感染症のニュース。徹底した感染予防対策。いろいろな行事の延期や中止。これまでの当たり前が覆された日常でしたが、児童や生徒はそれなりに対応し、学校生活を過ごすことができていたように思います。先日、久礼小学校の学習発表会を、少しのぞかせてもらいました。6年生は修学旅行の学習を発表。これまでの行き先とは違って四国内。小豆島で出会ったサルのことや24の瞳の映画村では戦争について学んだこと、レオマワールドでは乗り物や買い物を楽しんだことを工夫しながら楽しく発表してくれました。その中でも心に残ったことは「修学旅行には行けないかもしれないと思ったけど、こうして行けたのはお家の方や先生方のおかげだ。」という言葉でした。感謝の気持ちをしっかり胸に刻んだ6年生に感動しました。6年間の思い出というと、子どもたちは大抵、修学旅行と言いますが、今年は余計に心深く残った修学旅行だったことでしょう。

さて、本年も各学校の公開授業や研究会にご案内いただき、ありがとうございました。コロナ禍の最中でありながらも児童・生徒が元気に活動できますのは、日ごろの先生方のご努力によるものと深く感謝申し上げますとともに、今後とも研究所の取り組みにご協力くださいますよう、よろしく願い申し上げます。

令和2年 中土佐検定

第1回漢字（中学校）9月24日実施

学年	1年生 (6級)	2年生 (4級)	3年生 (2級)	町全体
受検者数	23	43	39	105
平均点	91.5	85.3	84.2	86.2
合格率(%)	100%	98%	95%	97%

第2回数学（中学校）11月19日実施

学年	1年生 (8級)	2年生 (5級)	3年生 (2級)	町全体
受検者数	24	43	38	105
平均点	71.0	82.6	79.8	78.9
合格率(%)	92	93	87	91

第2回英語（中学校）11月19日実施

学年	1年生 (8級)	2年生 (5級)	3年生 (2級)	町全体
受検者数	24	43	38	105
平均点	87.5	87.6	90.4	88.6
合格率(%)	100	95	92	95

第2回算数（小学校）11月25日実施



学年	1年生 (17級)	2年生 (14級)	3年生 (11級)	4年生 (8級)	5年生 (5級)	6年生 (2級)	町全体
受検者数	37	32	35	48	35	40	227
平均点	97.2	93.0	93.7	93.6	87.8	81.4	91.1
合格率(%)	100	100	100	100	94	100	98.7

平均点は本試、合格率は再試験、再々試験を含めてのものです。

中土佐検定は、始まって10年近くとなり、どの学校も1年間の予定にはきちんと組み込まれていて、定着してきたことがうかがえます。また、間違いランキングを活用し、テストまでに学校全体で取り組んだことで、成果が見られていますので紹介します。

☆第1・2回中土佐検定（数学・英語）より、成果・改善が見られた問題について

○数学

学年	級	問題	R2 正答率(R1 正答率)
1	9	$(-2^3) \times (-4)^2$	65%(48%)
	9	$(-96) \div 8 + (-3) \times (-6)$	96%(なし)
	8	縦がxcm で周りの長さが20cm の長方形がある。 この長方形の横の長さは□cm である。	83%(9%)
2	6	$-\frac{x}{4} = -8$	70%(51%)
	6	$\frac{x-5}{4} = \frac{5x+3}{6}$	72%(54%)
	5	$\frac{3}{4}y^2C \frac{5}{8}xA (P 5xy)$	72%(40%)
3	3	$-3x^2 + 6x + 24$ を因数分解	75%(54%)
	3	$\frac{3}{4}a(12a^2 - 18ab)$	85%(63%)
	2	$(x-4)^2 = 3$	84%(56%)

○英語

学年	級	問題	R2 正答率(R1 正答率)
1	9	[英作文]好きな物を (食べ物・スポーツ・教科など)言うとき	96%(78%)
	9	[英作文]出身地を言うとき	87%(74%)
	8	[英作文]その人の職業を言うとき	79%(40%)
	8	[英作文]名前を紹介するとき	63%(51%)
2	6	[英作文] 「わたしは~にわくわくした」と書くとき	70%(44%)
	6	[英作文]「わたしは~した」と書くとき	74%(59%)
	5	[英作文] 職業などについて書くとき	74%(50%)
	5	[英作文] 「第二に~」と書くとき	79%(57%)

3	3	[並べ替え] 彼女にわたしに折り返し電話をするように言ってもらえますか。(you / me back / her / could / tell / to call) ?	80%(51%)
	3	[英作文] 下線部④(避雷針)についてたずねる質問文	90%(74%)
	2	[並べ替え] あの店で売られているケーキはとてもおいしいです。(is / the cake / at that shop / sold) very good.	79%(53%)
	2	[英作文] いつ開催されるか紹介するとき	84%(41%)

☆第2回中土佐検定(算数)より, 成果・改善が見られた問題について

学年	級	問題	R2 正答率(R1 正答率)
1	17	(絵を見て)あといくつで「10」になりますか	97%(74%)
2	14	(絵を見て) 長さは何 cm 何 mm ですか	88%(77%)
	14	(絵を見て)「時こく」をいみましょう	78%(60%)
3	11	2分10秒= <input type="text"/> 秒	96%(75%)
	11	「午前11時30分から40分前」	91%(73%)
4	8	「57000009999」を読みましょう	89%(76%)
5	5	商を一の位まで求め, あまりも出しましょう。 $4.5 \div 1.3$	86%(78%)
	5	$33.6 \div 3.7$ (*商を上から2ケタで四捨五入)	82%(71%)
6	2	$2\frac{2}{7} \div 2\frac{2}{3}$	98%(78%)
	2	$10.5 \div 2.5 \div \frac{7}{15}$	77%(44%)
	2	比の値を求めましょう $\frac{2}{3} : \frac{4}{5}$	83%(74%)
	2	比を簡単にしましょう $\frac{1}{3} : \frac{3}{4}$	95%(59%)

川島隆太教授の講演～脳を鍛え、夢と希望をかなえよう～

11月28日（土）久礼小学校で、東北大学加齢医学研究所所長の川島隆太教授の講演会が小学校5・6年生や保護者を対象に行われました。密を避けるために大野見小、上ノ加江小学校の5・6年生と久礼小学校5年生は体育館で、久礼小学校の6年生は教室でリモートで講演を聞くことになりました。児童は興味深く聞きっていました。最後には、教授に良い質問もできました。



川島教授の講演より

① 脳の司令塔である前頭前野の働き



前頭前野の機能を高めることで育つのは？

「安定的なところ」と「知能」が生まれ、「夢がかなう」と話してくださいました。

② 前頭前野を鍛えよう

準備運動は声に出して読むことから。特に英語などは読んで、単語を勉強すると、わかりやすくなるとのこと。

計算や読み書き

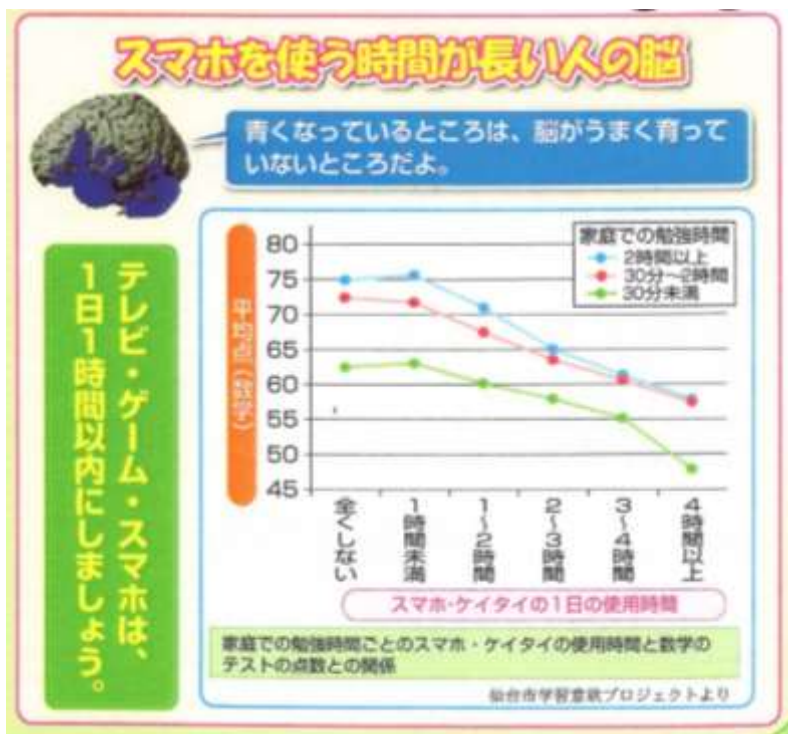
友だちと遊ぶ・
話す(直接)家
族との会話

楽器の演奏・絵
を描く・字を書
く・料理をする

一人で歌う

基本的な生活習慣を身
に着けよう(早寝・早
起き・朝ごはん【おか
ずも大切に】)

前頭前野を鍛えるために、特別なことは何もなく、ただ、日常生活で当たり前に行っていることをするだけなのだと、教授は言います。しかし、それを阻むものがあります。「ゲームとスマホ」です。これらは脳が眠ってしまうため、前頭前野にはよくないとのこと。しかし、そうはいつでも今の時代、大変便利なものではありませんよね。だから上手に付き合うことが大切だそうです。



教授はスマホやケイタイの一日の使用時間と数学の平均点の関係を調べました。そこでわかったことは、家庭での勉強時間は短くてもスマホを使わない子の方がスマホを長く使って勉強時間が長い子より点数が高いということでした。また、1時間未満の使用では、あまり点数の変化が見られないので、スマホやケイタイ・ゲームとは上手に使うことが大切だとおっしゃっていました。

川島教授の著書は町内図書館に何冊か置いてあります。



つながる教室

2学期も各校の公開授業等に参加させていただき、ありがとうございました。コロナ禍の中にあっても、工夫しながら授業を行っている先生方の姿には頭が下がる思いです。

11月13日（金）上ノ加江小学校では、外国語科の授業が複式という形態で行われました。

授業者 渡辺 翔平先生

大森 テレサさん（ALT）

5年「I want go to Italy.」

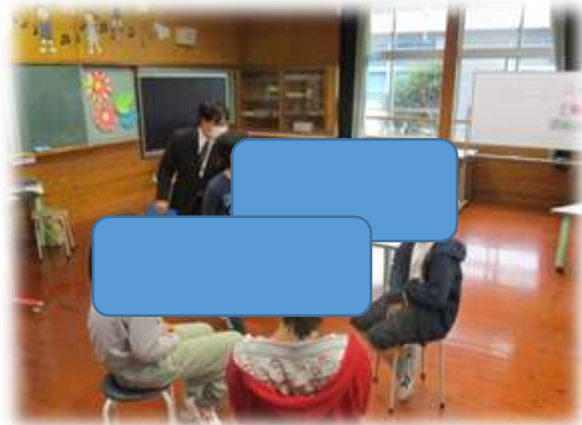
これまで学習した英語を使って、行きたい国の理由をたずねたり、答えたりしましょう。

6年「This is my town.」

これまで学習した英語を使って各地でできることを伝え合おう。



授業の流れがしっかり理解できているので、児童はデモンストレーションを見て聞いて、ポイントをつかんでいました。そして、アクティビティでは5年生も6年生も自分の考えを伝え合っていました。また、どの教科も複式授業で行われているため、それぞれの活動を見て、良い点やアドバイスができる関係にあることが、複式で行うことのプラスだと思いました。



外国語科の授業では、「クリアーボイス」「アイ コンタクト」「リアクション」というコミュニケーションにおいて必要な観点がありますが、日常の生活においても大切な事柄だということを私たちは、忘れてはいけないことだと痛感したことでした。スマホの文字だけでは伝わらないこともあるということ、ちょっと考えたことでした。



令和2年9月4日（金）、久礼中にて、中平善子先生による理科の授業が行われました。単元名は物質の状態変化で、課題は「なぜ物質は状態変化するときには体積が変化するのだろうか。粒子モデルで説明してみよう。」でした。こうして英語だけではなく、理科や社会、道徳や自立の授業にも参加させていただきました。

社会科副読本「中土佐のくらし」編集中

1月19日（木）に、3回目の副読本の編集委員会が行われました。それぞれの編集委員さんの第2次原稿の確認、検討作業となりました。そして、その検討確認後の原稿を、再度研究所にて編集委員長の中城先生と見直し作業をいたしました。現在は研究所が体裁を整えたり、ルビを振ったり、写真や新しい資料の差し替え作業をしています。

今後の予定

- 1月中旬・・・2次原稿清書作成、その後研究所と中城先生で1次校正
- 1月末・・・印刷会社へ
- 2月・・・印刷会社からの原稿の2次校正印刷会社へ
- 3月初旬・・・完成
- 4月・・・配布

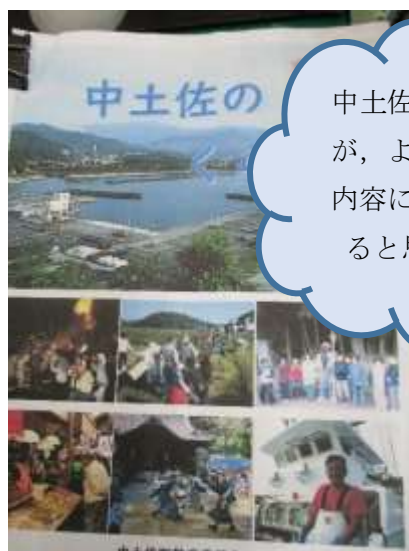


町木 オガタマの木

編集委員

中城守さん（編集委員長）
古谷智史校長先生（大野見小）
堅田一正教頭先生（上ノ加江小）
坂本和恵先生（久礼小）
正岡淳一さん（地域アドバイザー）
佐竹千代子さん（ " ）
野村泰子（研究所）
森 将人（ " ）

編集委員の皆さんには、忙しい中、中土佐町の産業、歴史等について現地に行って、話を伺ったり、写真を撮ったりと、大変ご足労をおかけしました。何とか、本年度中の作成に目途がつかしました。紙面をお借りして、お礼申し上げます。



中土佐町のことが、よくわかる内容になっていると思います



令和3年1月12日から研究所は、教育委員会事務局とともに久礼の本庁舎に移転します。大野見小中学校とは少し距離を感じることはなるかと思いますが、これまで通り、いつでも声をかけてくださいますよう、よろしくお願ひします。